

朝日中学校だより

笑顔あふれるあたたかい学校

令和4年12月23日発行



【教育目標】 進んで学び 豊かな心をもった たくましい生徒

「第2学期を振り返って」

校長 近 貴志

8月の豪雨、主に11月のコロナ第8波、直近の豪雪と、災害が続きましたが、第2学期の教育活動を無事に完了することができました。これも保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力によるもの、そして生徒の皆さんの努力の賜と、心から感謝を申し上げます。最近では豪雨・豪雪の災害規模が大きくなってきています。今後いっそう、中学生が地域の防災に参加し、「自分自身の避難と、地域の避難活動での他者への貢献を両立させる」ことが求められます。そのために、朝日中学校は地域・行政機関と連携して防災教育をより具体的に活動化して、地域の安全を高めることに貢献していきたいと考えています。

さて、第2学期は体育祭、合唱発表会などの学校行事で、生徒が主体的に活動し、心身ともに大きく成長した姿を見せてくれました。また、地域の商工会様、事業所様から、2学年の職場体験活動や3学年の面接練習で多大なご協力をいただきました。本当にありがとうございました。地域の皆様からお世話になることをとおして、将来の朝日地区を担う大人に育ってほしいと願っております。

終業式では、「冬休みに2023年からの自分の夢を考えてほしい」と全校生徒に伝えます。サッカーのワールドカップ2022では、日本代表は目標のベスト8にはあと一歩のところでしたが、達成されたに等しい感動をもたらしてくれたと感じる人が多いと思います。

今回の代表選手の中には、「次のワールドカップでベスト8以上に勝ち進むゴールを絶対に自分が決める」と公言している選手もいるようです。私は、(期待も込めて)その選手の目標は達成されると思っています。なぜなら、

- 目標(ゴール) 日本をベスト8以上に自分が活躍して導く。誰よりも上手くなる。
- 動機(モチベーション) 今回負けて悔しいこともあるが、絶対にそうしたいと思う。
- 日課(ルーティン) その日までプロリーグで活躍して、日々鍛錬する。

という条件がそろっているからです。

ですが、次の4年間はこの選手に限らず、誰にでも平等に訪れます。「新しい自分を創造する」「自分の新しい歴史を作る」ということは、すべての人の目の前にあり、実行するかどうかはその人にかかっています。

全校生徒に、「新年の訪れにあたり、このサッカー選手のように、皆さんも『自分はこうなりたい』と決めて、努力を始めてほしい」と話します。「実行した努力が必ず結果となって実現するとは限らないが、本気で準備した人にしか結果は得られない」といじめ防止の講演で来校された歌手のTSUNEIさんも語っておられました。

生徒の皆さんが、第3学期の開始にあたり元気に登校してくれることを心待ちにしています。



合唱発表会を行いました 10月21日(金)

村上市総合文化会館大ホールにおいて、文化祭(合唱発表会)を行いました。各学年の練習の成果が十分発揮された、素晴らしい発表会でした。保護者の皆様、ご参観たいへんありがとうございました。



1年生。よくそろっていました。



2年生。とても迫力がありました。



3年生。さすがでした。「感動して涙が出た」と言う先生もいました。

いじめ見逃しゼロキャラバン隊が来校しました 11月17日(木)

5、6限に「新潟県いじめ見逃しゼロキャラバン」の訪問があり、シンガーソングライターのTSUNEI様による出前授業(講演)とミニライブが行われました。

講演では、「①本気でやれば、応援してくれる人が必ずいる!」「②辛い・悔しい経験を無駄にしたらもったいない!」「③逃げることは新しい可能性に会いに行くことかも!」と教えていただきました。ご自身の専門学校時代に、好きなことや夢に向かって一生懸命努力している仲間どうし、いじめや他人を傷つける言動などなく、素晴らしい時間を過ごせたことや、就職してから歌手になる夢を取り戻し、下積み時代の苦勞を乗り越えたからこそ、今日、朝日中の生徒の前で歌う幸せを味わえること、等を話してくださいました。



ミニライブでは、素晴らしい歌唱を生で聴くことができ、生徒も驚きと満足で心が一杯だったようです。美しい歌声、声量の素晴らしさに皆感動している様子でした。聴いて、元気が出た生徒も多いと思います。講演後のアンケートでは、「感動した」という記述がたくさん見られました。



講演の中で、「夢はありますか」「好きなものがありますか」という質問に大勢の生徒の手が上がり、とても嬉しく感じました。本気で夢を追いかける時は、すぐにやってくると思います。いじめに夢や希望を奪われることのないよう、今回の学びを活かしてほしいものです。